

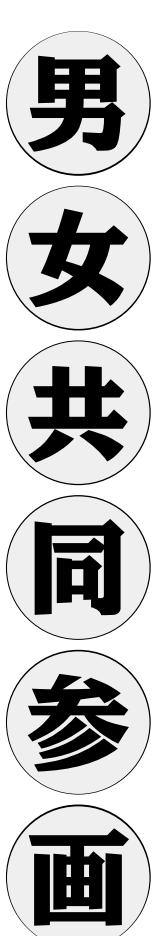
●行政課へ31日までに申し込みを

市では、女性の地位向上や社会参加などを目指すための指針である「えびな女性プラン」に基づき、さまざまな施策を行ってきました。しかし、「男は仕事、女は家庭」といった固定的な考え方は依然として残っています。

近年の女性を取り巻く社会環境の変化に対応するために、市

## 暮らしがしやすい社会

一緒に考えてみませんか?



18歳以上の方  
メンバーモニター募集

同課 (内318)。

●対象コンビニ (13社)

同参画について考えていることを400字程度にまとめ、住所・氏名(ふりがな)・生年月日・職業・電話番号を明記して、3月31日(水)までに直接行政課へ持参(土・日曜・祝日を除く)するか、または郵送で提出してください。

▽活動内容 本市の男女共同

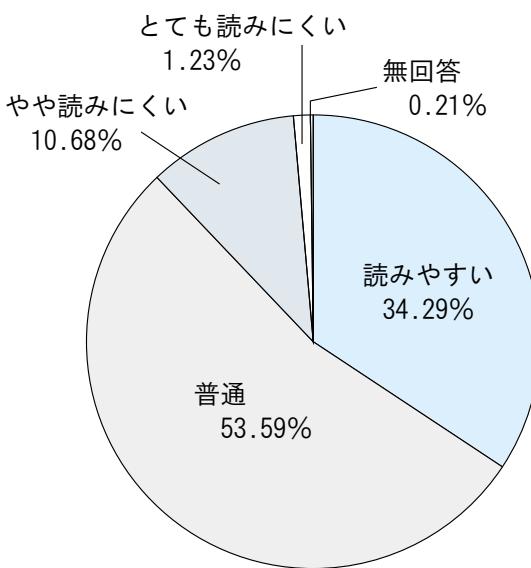
参画計画策定に向けた意見・提

める方

▽応募方法 男女共

# 文字の大きさ急速拡大

## 広報えびなに対する意見・アンケート調査結果



広報えびなは、市のさまざまな情報を市民のみなさんにお伝えするために発行しています。去年9月15日号紙上で、みんなの広報えびなに対する意見を調査し、紙面づくりに反映させました。その結果がまとまりましたので、お知らせします。

100人当たり1件  
487の回答

## 身近な話題・ゆとりの紙面反映へ

### 回答7割以上が60歳超の方

調査は、①性別・年齢層、②広報紙をどの程度読むか、③広報紙の印象、④自由意見の4項目について行い、期限の11月15日までに、487件の回答が寄せられました。また、回答者の年齢に関しては、20歳以下が0、21~30歳が7(1.44%)、31~40歳が27(5.54%)、41~50歳が23(4.72%)、51~60歳が80(16.43%)、61

などで配布している広報紙は4万5000部以上あるため、おおむね読者100人当たり1件の回答数と推計しています。

①性別・年齢層

回答者の性別に関しては、男性が200(41.07%)・女性が202(41.85%)でした。

②広報紙を読む程度

回答者の7割以上が60歳以上であることが、大きな特徴となっています。

「広報紙を読んだ印象は」という質問に関しては、「読みやすい」が167(34.29%)、「普通」が261(53.59%)、「やや読みにくい」が52(10.68%)、「とても読みにくい」が6(1.23%)、

無回答が1(0.21%)でした。回答者の9割近くが、「普通」または「読みやすい」と判断していることが分かります。

④自由意見

自由意見で最も多かったのは「文字が小さい」「文字をもっと大きく」というもので、80件が寄せられました。

「文字が大きくてよい」「文字の大きさはこの程度でよい」という意見は16件ありました。また、「読みやすく感じた理由としては「色の使い分けがよい」

「広報紙をどの程度読んでいますか」という質問に関しては、「すべて読む」が274(56.26%)、「関心のあるところだけ読む」が206(42.3%)、「見出しや写真を見る程度」が6(1.23%)、「読みないことが多い」が1(0.21%)でした。

「少なくとも自分の関心のある部分は読む」という回答者が、

このほか、「催しの記事には会場の地図もつけてほしい」「見出

しの上に記事の内容に応じた絵を入れるとよい」「カラー化を進

めてほしい(反対の意見もあり)」といった要望や、連載中のコラム・記事に関する意見などがありました。

## 文字に多数の意見

### 9割近い「読み易い」判断

③広報紙の印象

広報紙には、政治・宗教・営利に関する記事は扱えないほか、紙面のスペースや掲載する情報の量などのさまざまな制約があるため、今回のアンケート結果について、すべてを紙面に反映することはできません。

しかし、みなさんからいただ

いた意見の中には、編集する側

でも同様に感じているものがあ

ります。こうした意見について

お願いします。

問 広報広聴課 (内271)

まず、意見が多かつた文字の大きさについては、平成16年度の早い時期に拡大します。また、意見が多かつた文字の大きさについては、平成16年度も広報えびな紙上で、紙面に関するアンケート調査を実施する予定ですので、ご協力を

お願いします。

お問い合わせください。

お問い合わせください。